

環境学習

小中学校での環境学習

小中学校の子どもたちが学校での環境学習を通して、環境を保全する実践力を身につけることを目指し、佐賀市教育委員会と協力しながら小中学校での環境教育を推進しています。

環境学習の実際



【各学校での工夫した環境学習】

各学校の実情に応じて、環境保全活動やSDGsを通して環境やエネルギー等の理解を深める学習を実践しています。

学習成果の発表



【環境ポスター展】

市内の小中学生が描いた環境ポスターの入賞作品をエコプラザ、市立図書館、エスプラッツ、ひがさすの4会場で展示しました。

教職員向け研修会



【環境教育関係者研修会】

学校における環境教育推進の関係者を対象としたもので、市の取組の紹介と学校版環境ISOの実施方法、審査方法などについて理解を深めました。また東よか干潟の見学も行いました。

副読本作製・配布



【小学校社会科副読本「くらしとごみ」の作製・配布】

佐賀市内の小学4年生を対象とした副読本として「ごみ」をテーマにした冊子を作製し、6月に配布しました。最新のデータを取り入れながら、ごみを中心に身近な生活環境について考える契機としてもらいました。

環境学習

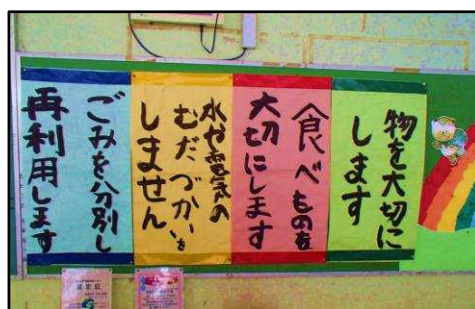
佐賀市学校版環境ISO

水と緑に囲まれた佐賀市を未来に引き継ぐため、市内の各小中学校では「環境にやさしい学校づくり」を目指しています。現在、全ての市立小中学校が佐賀市学校版環境ISO制度の認定を取得し、それぞれの学校が創意工夫を凝らし、環境にやさしい活動に取り組んでいます。

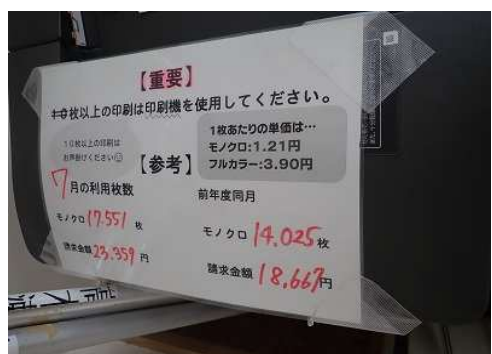
各小中学校での取り組みの様子



環境にやさしい行動に取り組むことを宣言します。(キックオフ宣言)



各学校で行動目標を決め、校内に掲示することで活動を促します。



教職員もコピーの節約について、創意工夫して意識化しています。



ペットボトルキャップを集めて世界の子どもにワクチンを届ける取組に協力しています。

公民館での環境学習



大詫間公民館「つばめのねぐら観察会」

◆公民館等において、環境に関する講座、緑化・美化活動、清掃活動など地域住民の環境意識の向上に取り組んでいます。

【令和6年度の活動実績】72回

SDGs 実践行動の促進

佐賀市は、佐賀大学全学教育機構、リコージャパン株式会社マーケティング本部佐賀支社、佐賀SDGs官民連携円卓フォーラムと連携し、SDGsの目標達成に向けた人材育成及び実践的な行動を促進することを目的とし、佐賀大学の授業科目「佐賀SDGsグローバルアクションⅠ・Ⅲ」の一般開放や市内事業所等を対象とした「佐賀SDGsアクション会議」(R6実績：年3回、延べ74人参加)を実施しました。引き続き、4者連携のもと、市内事業所等のSDGsへの取り組みを支援していきます。



佐賀SDGsアクション会議

海洋プラスチックごみ対策の啓発

プラスチックごみの海洋流出については、近年、地球規模の問題となっています。気候変動の影響もあり、ここ数年、豪雨災害により有明海に面した佐賀市も毎回大きな影響を受けています。この問題は世界規模ではありますが、一人ひとりの意識や行動により抑制できることもあります。佐賀市では、11月に東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」にて株式会社サガテレビ主催アクトクリーンSAGA2024の第2部として環境イベントを開催し、市民への啓発活動を行いました。



環境映写会
「プラスチックの海」



体験コーナー（ワークショップ）
マイクロプラスチック万華鏡づくり



体験コーナー（ワークショップ）
みつろうラップづくり

「トンボ王国・さが」づくり

トンボ写真コンクール

トンボの写真撮影を通して自然環境の保全について理解と関心を高めるため、「第35回トンボ写真コンクール」を実施しました。全国から606点（県内撮影部門183点、県外撮影部門423点）の応募があり、入賞作品を掲載した卓上カレンダーを作製しました。

県内撮影部門 最優秀賞
「今日は暑いな」



撮影者：東 正彦 氏

県外撮影部門 最優秀賞
「トラフトンボが行く」



撮影者：澁谷 易代 氏

自然観察会 さがの生きものさがし2024

トンボをはじめとする生き物や自然の観察を通して身近な自然環境について学ぶ自然観察会「さがの生きものさがし」を開催しています。

	月 日	内 容	場 所
第1回	5月18日 (11名)	春のトンボの採集と観察	金立公園
第2回	6月22日 (24名)	夏のトンボの採集と観察	神野公園
第3回	8月10日 (31名)	平野の魚の採集と観察	多布施川河畔公園周辺



環境保健推進協議会

佐賀市環境保健推進協議会は、佐賀市内の各自治会の代表者で組織されています。市民の生活環境の向上と健康の増進を図り、健康で住み良いまちづくりの実現に寄与することを目的とした活動は、幅広い市民の環境にやさしい行動の実践につながっています。ここでは、協議会の主な活動内容について紹介します。

取り組みの紹介

一 佐賀市環境保健推進大会の開催 一

環境や健康に配慮した活動を行っている市民や団体に対し、その功績や努力を顕彰するための功労者表彰及び健康長寿のための健やかな暮らしについての講演会を実施しました。

令和6年度は、個人3名、団体2団体、事業所4事業所を表彰しました。

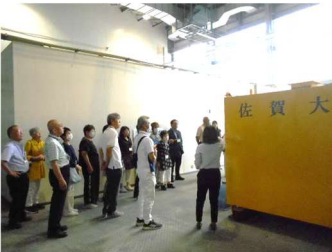


【写真】 推進大会の様子

各部会の主な活動内容

環境保全部会

協議会には3つの専門部会があり、それぞれの主な活動内容を紹介します。



7月に伊万里サテライト海洋エネルギー研究所を見学し、海水から作られるエネルギーや海洋発電について学びました。8月にひがさすにて行われたイベントに参加し、クリークに生息する生物の見学や、ワークショップの参加を通して、環境についてさらに理解を深めました。

ごみ対策部会



7月に熊本市のプラスチックリサイクル工場を見学し、プラスチックがどのような工程でリサイクルされているのか、現状や今後の課題等について学びました。8月に「SAGA2024国スポ・全障スポ応援 ボランティア清掃」に、環保協から広く地域へ呼びかけ参加しました。

健康推進部会



7月に熱中症予防に関する講座を実施し、熱中症の仕組みや症状、その対策について説明を受け、熱中症への理解を深めました。10月に栄養バランスの大切さについての講話を行い、栄養素の種類や効果、必要な栄養素を含む食材、そして、栄養素の吸収を阻害しないようにする方法等を学びました。